第３学年　理科学習指導略案

指導者　　藤井　樹生

１．単元名　　花と実をしらべよう

２．ねらい

〇植物の育つようすや開花に興味をもち，進んで調べようとする。（自然事象への関心・意欲・態度）

〇花がさく植物の観察をして，花がさいたあとどのようになっていくかを予想することができる。（科学的な思考）

〇花がさいている植物を観察して，つぼみや花などのようすを的確に記録することができる。（観察・実験の技能）

〇花は咲き終わると実になり，植物の成長には一定の順序があることを理解している。（自然事象についての知識・理解）

３．本時の展開（３／３）

・これまでの植物の観察や映像資料などから，花のあとには実ができることや，植物の成長には一定の順序があると考えることができる。（科学的な思考）

学習活動	センター指導主事の支援
１．本時の課題をつかむ（５分） 花は，さいたあと，どうなるのだろうか。 ２．花のあとにできた実を観察し，気付いたことを発表しあう。 ・スケッチとメモ ・写真 ３．いろいろな花や実を見て気付いたことを発表する。(実物や写真) ・ナスやキュウリなどの野菜の花と実を見て花はさいたあと，どうなるか話し合う。	・はじめのあいさつをします。
４．総合教育センターの先生のお話を聞く ・話を聞いて気付いた点などをメモする。 ５．学習を振り返る 植物は，たねをまいてから実ができるまで，どのように育ったのだろうか。 ・今までのスケッチなどの記録を順番にならべて植物の育ち方を振り返させる。	・ホウセンカなどの花のこの頃の様子についての話し合いを聞いて，アドバイスする。いろいろな植物の花と実を紹介してもらいたい。 ・植物の育ち方を，たねから実になるまでの映像を見せてもらいたい。 ・最後にあいさつをします。